

AI活用時代に、企業は「採用プロセスの再設計」を進めています

進路室長 橋野 幸男

昨年末、「日本経済新聞」に次の記事が掲載され、ネット上でも話題になりました。

- ①「ルート、新卒の書類選考廃止。AI普及で内容横並び。人事担当者が15分対話」【12月16日】

ルート製菓は、2027年4月入社の新卒採用からエントリーシートによる書類選考を廃止すると発表。代わりに人事担当者と15分間の対話による選考を導入する。
生成AI(人工知能)の普及で応募書類の内容が均質化しており、対話を通じて学生一人ひとりの個性や価値観を把握する。

- ②「エントリーシートはAI頼み? 新卒採用、ルートなど対面式に転換」【12月23日】

書類選考を見直す企業の動き:

ソフトバンク	2025年から志望動機などを書くエントリーシートを廃止。 動画を提出 してもらう形式に〔⇒ AIが動画を解析して合否を判定〕
日立製作所	2024年卒の新卒採用から「ガクチカ」の質問を廃止。 入社後に取り組みたいことを発表する選考 を導入
横浜銀行	2025年卒の新卒採用から、自己紹介書と 経験・成果を伝える動画 で応募できる枠を新設

こうしたなかで、新卒採用は実際の働きぶりを見て判断できる「採用直結型インターンシップ(就業体験)」を重要視する動きが加速している。

外資就活総合研究所の戸川博司所長は「学生側のAI活用は不可逆であり、利用を前提とした選考設計への移行が不可欠だ。面接やグループワークなど対面の選考の比重は高くなる」と指摘する。

これらニュースに関して、例えば碓邦生氏(九州大学ビジネス・スクール講師)は論考『勘と経験の採用』から『科学を使った採用』に切り替えよう」で、「AI時代に学生の能力を見抜く二つの方向性」や「採用を『科学』に戻す好機として」などを論じています。また、河合薫氏(健康社会学者、大学非常勤講師)は、「エントリーシート廃止の背景には、自分たちの会社の理念を学生たちに直接伝え、同じ志を持つ仲間を本気で探そうとする企業の『覚悟』がある」と評価しています。

1年電子情報の学生にはすでに、「大学生が見た『ChatGPTに丸投げ』就活の末路。コピペES、セリフ丸暗記で『思考停止』… AI就活の落とし穴」や、

「動画面接にAI解析、対策の有無が合否直結。表情・声・構造を整える」などのアドバイス記事を紹介しました。AIが進化するなか、企業・学生のいずれもが同技術を活用しており、これを前提として採用手法の再設計が進んでいます。こうした動向に留意し、志望先における採用プロセスの情報を収集した上で、活動準備を行ってください。

令和7年 秋季スポーツ大会 (このはなアリーナ)

令和7年11月18日(火)



音響&映像メディアクリエイイト学科1年 小林暉幸

今年度2度目となる秋季のスポーツ大会は、実際にスポーツの試合でも利用されるこのはなアリーナで開催されました。

今回の種目は春季に実施されたドッチボールとは異なり、チームとしての強い結束が求められるバレーボールでした。運動があまり得意ではない私はあまり活躍できませんでしたが、友人たちと楽しく競技に参加することができました。また、競技を行ったり観戦したりするなかで、これまであまり話したことのないクラスメイトとも積極的に会話をし、交流を深めることもできたと感じています。

さらには他学科の学生や先輩方、そして先生方とも和やかな雰囲気でのコミュニケーションをとることができ、スポーツの持つ力の大きさを改めて感じました。

今後もスポーツの場を通してたくさんの方と積極的にかかわり、自身を成長させていきたいです。

最後になりますが、このような素晴らしい行事を企画、運営して下さった学生会と先生方、そして会場を利用させて頂いた職員の方に、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

総合福祉学科・介護福祉学科1年生 第二期実習

令和7年11月25日(火)～12月7日(日)

「第2期実習で学んだ「その人らしさ」に寄り添う支援の大切さ」

総合福祉学科 後藤 明歩

今回の第2期実習を通して、利用者様一人ひとりの生活背景や価値観を理解し、その方に合った支援を行うことの重要性を深く学びました。その方に合った支援を行うためには、教科書や授業で学ぶ「正しい介護」を基盤にしながら、安心していただくための声かけや距離感、観察の工夫など、一人ひとりに適した関わり方が必要であると実感しました。生活支援を行う中で、利用者様のペースを尊重し、些細な変化に気づきながら支援することで、「自立支援」「尊厳の保持」「安心・安全」が実現するのだと明確になりました。

また、サービス担当者会議の見学では、ご家族の思いと本人の意思を大切にしながら、専門職が連携して支援方法を検討する姿が印象に残りました。この時の介護職の方の発言から、介護は身体的な援助だけでなく、生活全体を支える専門職であると強く感じました。今後は「なぜこの支援が必要なのか」を考え、その人らしさに寄り添いながら丁寧な支援ができるよう、知識と技術を高めていきたいです。」

『第二期実習10日間の学びについて』

介護福祉士学科 木下 琉哉

私は静岡市にある特別養護老人ホーム晃の園にて実習をさせていただきました。晃の園は日常生活に介護が必要な高齢者が長期的に生活する施設です。食事や入浴、排泄などの日常生活の支援だけでなく、行事やレクリエーションも行われており、利用者様が安心して生活できる環境が整えられていました。利用者様にとって施設は「生活の場」であり、単に介護を行うだけでなく、その人らしい生活を支えることが求められていると感じました。地域に根ざした施設として、家族や地域とのつながりを大切にしている点にも、施設の役割の大きさを実感しました。

私の第二期実習の目標は、「利用者一人ひとりの状態や生活歴に合わせた援助技術を高めること」です。晃の園では、これまでの生活や価値観、好みを大切にしながら関わりが行われており、画一的な介護ではなく個別性のある支援に取り組んでおりました。職員の方の関わりから利用者の生活歴や性格を理解することで、声かけや援助の仕方が変わることを学びました。ゆっくりとした声かけを心がけることで不安が軽減される場面や、残存能力を引き出し、できることはご本人にさせていただくことで意欲や自信につながり、自立支援につながる場面を目の当たりにすることが出来ました。こうした場面から介護は単なる作業ではなく、「生活を支える仕事」であり、利用者一人ひとりを尊重する姿勢が何よりも大切だと学びました。

今回の実習で得た学びや気づきを、今後の実習や将来の現場で活かし、地域に信頼される介護福祉士を目指していきたいと思います。



総合福祉学科3年生 第六期実習

令和7年12月1日(月)～12月20日(土)

「実習で得た学びとこれからの目標」

総合福祉学科 赤堀 りろ

第6期実習では、アセスメントから計画立案、限られた時間の中でクライアント本人から話を聞く経験まで行い、社会福祉協議会の支援の流れを実践的に学ぶことができました。個別の関わりだけでなく、その支援が地域や関係機関とどのようにつながっているのかを考える機会も多く、社会福祉協議会ならではの役割の大きさを実感しました。

また、事前に質問内容を考え、先生や職員の方に相談しながら準備を進めることで、安心して実習に臨むことができ、自分自身の成長も感じることができました。

この実習をきっかけに内定をいただき、実習先で働くという現実がはっきりと見えてきました。その中で私が一番やりたいと感じたのは、クライアントやその家族の思いに丁寧に寄り添いながら、その人に合った支援を一緒に考え、必要な支援につないでいく相談支援の部分です。今後は、個を見る視点を大切にしながら、「なぜそうなっているのか」「社会福祉協議会として何ができるのか」を考えられる職員を目指していきたくです。

IoT企業での実地研修(インターンシップ)で大きな収穫！

令和7年12月3日(水)

ITゲーム&ロボットシステム学科 小田 星

今回、IoT、組み込みシステム開発を目指すITゲーム&ロボットシステム学科の1年生4名が、日頃学んでいるIT、IoT、電気・電子技術がどのように具現化されているかを実地で学ぶため、株式会社システムソフィア社内で研修を受けさせていただきました。

担当してくださった本学の卒業生に質問した際、わかりやすく丁寧かつ細かく説明していただき、とても嬉しく感じました。また、「本学のモットー」でもある、仕事の中で問題を発見し、その理由を考えながら学びにつなげていく姿勢が成長に結びつくというお話が特に印象に残りました。

一見すると当たり前のように思える点でも、実際にはとても重要であり、自分自身も日頃の学習や行動の中で大切にすべき考え方や改めて気づくことができました。今回のお話を通して、今後の取り組みに対する意識がより高まり、大変有意義な時間となりました。



広報室より

企画広報室 高橋 達也

早いもので新年を迎えて1ヶ月が過ぎ、2月になりました。まだまだ寒い日が続いていますが、健康管理はしっかりできていますか？今年度も後悔することのないよう、色々なことにチャレンジしてください。

さて、本学では後期AO入学選考のエントリーを受付しています。進路選択に迷っているご家族や友人、後輩等がいらっしゃればぜひ本学を紹介してあげてください。希望していただける方にはぜひオープンキャンパスへ参加してもらおうようにお伝えください。まずはオープンキャンパスの体験授業で目指す分野、仕事について一緒に考えましょう。

また、在校生の皆さんもいつもオープンキャンパスへご協力いただき、ありがとうございます。オープンキャンパス終了後の参加者アンケートを見ると、在校生の話が聞いて参考になった、また参加したい、とたくさんの方が書いてくれています。高校生は在校生を通して将来の自分の姿をイメージしますので、今後のオープンキャンパスでも高校生から「先輩たちのようになりたい！」と感じてもらえるよう、また「自分磨き」の機会として在校生の皆さんご協力をお願いします。

令和8年4月、あらゆる業界の未来を変える フラッグシップ「AI×DXプロデュース専攻科」始動

副校長 有賀 浩

令和8年度より、本学の新たなフラッグシップとなる1年制課程「AI×DXプロデュース専攻科」が誕生します。今やDXはIT業界に限らず、医療・福祉・保育・ITものづくりなど、あらゆる分野で不可欠な課題となっています。だからこそ本専攻科が目指すのは、単なる技術者の育成ではなく、AIを課題解決の「手段」として使いこなす、組織やビジネスの変革を主導できる「リーダーシップ」を発揮し、“新たな価値”をプロデュースできる人材の育成です。確かな技術を土台に据え、現場を巻き込みプロデュースする力を磨くこの学びは、これまでの専門教育の枠を超え、本学の教育ステータスを次なるステージへと引き上げるものとなります。専門学校静岡電子情報カレッジが送り出す、新時代の変革リーダーにご期待ください。



2月の行事

- 3日(火) 2CP保育実習(1/19～)
- 4日(水) 卒研・ケアスタ
補講授業・後期卒業試験 ～10日
- 7日(土) オープンキャンパス 13:15～
- 11日(土) 建国記念の日
- 12日(木) 3CP卒研科内発表会
追再試補講・卒研・ケアスタ ～20日
- 17日(火) 1ORTメディックファーストエイド ～19日
- 19日(木) 視能訓練士国家試験
オープンキャンパス 17:00～
- 23日(木) 天皇誕生日
- 25日(水) TW・CWケアスタディ発表会
- 26日(木) B検・J検CBT試験 15:30～
- 27日(金) 我道祭1日目(文化祭)
- 28日(土) 我道祭2日目(文化祭・学園祭)
保育園「ひかりの日」

後期AO入学選考

- ・エントリー期間：①令和8年1月 6日(火)～2月13日(金)
②令和8年2月24日(火)～3月19日(木)
- ・結果発送：①令和8年1月 9日(金)～2月20日(金)
②令和8年2月27日(金)～3月28日(土)

入学選考日程

- 入学選考日：令和8年2月7日(土)・3月7日(土)
最終：3月28日(土)

特待生選考、自己推薦選考、一般選考、社会人選考、留学生選考

- 出願受付期間：選考日前日15時必着

オープンキャンパス
02/7(土) 02/19(木)
スペシャルオープンキャンパス
03/7(土) 03/28(土)

【開催時刻】土曜：両校13:15～ 平日：両校17:00～

◎個別オープンキャンパス開催：希望日時をご連絡ください。
※以降の入学選考の日程・オープンキャンパスの詳細は
HP・募集要項をご覧ください。